

地元意見の集約方法・調査内容について

1. 実施概要

生駒市地域公共交通利便増進実施計画の作成に向けて、富雄庄田線の利用状況やニーズ、路線再編案に対する影響等を把握するために、高山地区住民を対象にしたアンケート調査を実施する。

- ・ 調査対象：高山地区住民への全戸配布（傍示、獅子ヶ丘、庄田、大北、久保、宮方、芝自治会 計 1,004 世帯）※高校生以上が対象（小中学生に対しては、教育委員会の「すぐー」システムによる調査を別途実施予定）
- ・ 調査方法：地元自治会によるアンケート調査票【資料 4-3】の配布・回収
→回答負担軽減のために WEB 回答ページも作成する
- ・ 配布数：1 世帯につき 3 部配布
→調査票と一緒に、調査依頼文【資料 4-2】と、富雄庄田線の利用状況や路線再編案の概要、乗って維持することの周知（モビリティ・マネジメント）などの情報提供用チラシ【資料 4-4（構成案）】を 1 世帯につき 1 部配布
- ・ 調査項目内容：
 - 富雄庄田線の利用状況
 - 地域拠点である学研北生駒駅の移動実態・乗り換え状況
 - 路線再編に対する影響
- ・ 調査時期・スケジュール：
 - 7/18：分科会において調査対象、方法、内容の検討
 - 7月下旬～8月：調査票の作成
 - 9月上旬～中旬：調査票の印刷・封入
 - 9月下旬～10月中旬：調査実施
 - 10月中旬～11月中旬：データ入力・集計
 - 11月下旬～12月：地域公共交通利便増進実施計画への反映

2. 調査項目と分析の視点

分類	調査項目	分析の視点
1. 個人属性	・ お住まいの地域名 ・ 性別／年齢 ・ 家族構成 ・ 自動車保有状況 ・ 自動車免許保有状況 ・ 送迎状況 ・ 普段の交通手段	・ 利用属性の整理
2. 富雄庄田線の利用状況	・ 利用の有無／利用頻度 ・ 利用時間帯 ・ 利用バス停 ・ 利用目的 ・ 最終目的地 ・ 利用時に困っていること ・ 利用しない理由 ・ なくなった場合の代替りの移動手段の有無	・ 富雄庄田線の現況の利用状況の把握（利用者データで把握が難しい項目） ・ 困っていることや利用しない理由の把握、計画の指標への活用
3. 学研北生駒駅への移動実態・乗り換え状況	・ 駅利用の有無／利用頻度／他の駅の利用状況 ・ 利用時間帯 ・ 交通手段 ・ 利用目的 ・ 最終目的地	・ 地域拠点への移動実態や、富雄庄田線と学研北生駒駅との乗り継ぎ状況の把握
4. 路線再編案に対する意向	・ 路線再編案（傍示～学研北生駒駅での路線分割）による自分の生活への影響／地域への影響 ・ 学研北生駒駅での理想の乗り換え時間	・ 路線再編時の個人や地域全体への影響度の把握 ・ 計画の指標とする学研北生駒駅での乗り換え時間に活用